

サービスの計測に関する検討会（第2回）議事概要

- 1 日時 平成22年4月28日（水） 15:30～16:50
- 2 場所 総務省第2庁舎 3階第1会議室
- 3 出席者
構成員：総務省統計局、総務省政策統括官、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、日本銀行
調査研究受託者：株式会社価値総合研究所
- 4 議事
 - (1) 「サービスの計測に対する需要調査の立案等に関する調査研究」報告
 - (2) 需要調査（案）について
 - (3) その他
- 5 議事の概要
 - (1) サービスの計測に対する需要調査の立案等に関する調査研究の結果について、調査研究受託者（株式会社価値総合研究所）から、諸外国の事例収集や有識者ヒアリングを行った結果、
 - ① サービス分野全般を対象領域とし、その中から需要が大きな分野を把握する案
 - ② 特定のサービス分野をある程度絞り込んだ上で、その中から更に需要が大きな分野を把握する案の2案が考えられる旨の説明があった。
 - (2) 上記調査研究結果を踏まえ、意見交換が行われた結果、上記①案の方向で需要調査の設計を行うこととなった。
主な発言内容は以下のとおり。
 - 特定のサービス分野に対する需要を調査するのではなく、全てのサービス分野に対する需要を調査する方がよい。
 - サービス分野の統計には、量の情報はあがるが、質、価格の情報が無いものもある。どのサービス分野に需要があるかだけでなく、指標とすべき事項は何か、どのような統計に需要があるかまで掘り下げて調査する必要があるのではないか。
 - 質の計り方は、サービス分野によって異なる。需要調査で需要の大きいサービス分野を絞った後、質の計り方の検討に資する情報を収集すべきではないか。
 - サービスには、消費者向けと企業向けがある。それぞれに別の統計需要があるかもしれない。
 - (3) その他
次回開催については、後日、メールにて連絡。

＜文責：総務省政策統括官（統計基準担当）付統計審査官室
（速報のため、今後、修正の可能性あり）＞